

楠見池 (くすみいけ)

位置図



諸元

貯水量	783 千m ³
満水面積	20.9 ha
受益面積	97.7 ha
堤高	本堤 6.8 m 副堤 4.4 m
堤長	本堤 232 m 副堤 175 m

楠見池は丸亀市飯山総合運動公園の南東に位置しています。弘治・永禄年間(1555年～1570年)に三谷村(現在の丸亀市飯山町東坂元)の尾崎利兵衛によって築造されました。尾崎利兵衛は、まず三谷の地を苦勞して開田して三谷池を造りましたが、水利が良くなると更に開田が進み用水不足となったため、下流側に楠見池を造りました。

正保2年(1645年)には干ばつがあり、領主松平頼重に新しく池を造るよう命じられた家臣の矢延平六は、三谷池と楠見池の両池を合せて一つにし、取除いた中堤の土で周囲の堤防を高くして現在のような楠見池に改築しました。矢延平六が池の守護神を祀ったのが、今の池ノ神社です。

昭和8年(1933年)政府奨励の農村匡救事業きょうききゆうでは、堤防を0.3m高くし、樋管を木樋からヒューム管に改修を行っています。昭和58年(1983年)から5年間で、県営ため池等整備事業として、本堤前付けなどの堤体工、取水施設工、越流堰式の洪水吐工を施工し、改修記念碑が建立されています。また、土地改良維持管理適正化事業で、浚渫船を使ってヘドロを除去するとともに、正保年間の工事で残っていた中堤も除去して貯水量を増やしています。

近年においては、平成15年～21年(2003年～2009年)に国営総合農地防災事業により、取水施設工の改良、洪水吐を正面越流堰(曲線)式に改良し、37,500 m³の浚渫を行っています。現在「楠見池親水公園」として東屋や池の周囲には約1kmの遊歩道が整備されており、散歩を楽しんだりして地域の憩いとふれあいの拠点になっています。



国営総合農地防災事業
香川地区事業誌より



楠見池堤体の全景